

ラグビーワールドカップ 2019 の釜石開催に向けた支援について

平成 28 年 1 月 14 日

復興庁におかれましては、東日本大震災により甚大な被害を受けた当市の復旧・復興に対し、復興交付金や復興特区をはじめとした支援体制の整備はもとより、復興事業の加速化のための各種支援や任期付職員の派遣など、多大なるご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

当市は、スポーツを核としたまちづくりの一層の推進を図るとともに、復興を成し遂げた当市の姿を国内外に発信し、各国から頂いた心温まるご支援への感謝の気持ちを伝えるため、ラグビーワールドカップ 2019 の開催都市に立候補し、昨年 3 月に選定されました。

現在、当市鶴住居地区において、「復興広場整備事業」として復興交付金のご支援をいただき、震災により失われたスポーツ、レクリエーション活動を行う拠点の整備を行っておりますが、この場所にラグビーワールドカップ 2019 釜石開催の拠点となる「釜石鶴住居復興スタジアム」(仮称)を整備し、復興広場と一体的に活用させていただくことについて、復興庁のご理解を賜りましたこと、重ねて感謝申し上げます。

今般、本復興広場について、津波・地震災害、山林火災及び土砂災害が発生した際の鶴住居地区及び近隣地区の避難・応急生活支援の拠点としての機能を追加することとし、当市の地域防災計画に位置付けることにより、ハード・ソフト両面から安全・安心に配慮した都市機能の構築を図りたいと考えております。

つきましては、同広場整備事業について、喪失した機能の代替としての復興交付金措置を維持しつつ、防災のための拠点としての敷地造成への支援の拡充につきましても、復興交付金による財政支援をお願い申し上げます。